

2014 年度年次大会 会長報告

2015 年 7 月 18 日（土曜日）

於：香港日本人倶楽部

会長挨拶

香港日本語教育研究会会長

梁 安玉

会員の皆様

本日はお忙しい中、「非営利団体」NPO 法人である香港日本語教育研究会第七回総会にご出席を賜り、心より感謝を申し上げる次第でございます。

当研究会は 1978 年に香港における日本語教育関係者の親睦・情報交換を目的として創立され、2007 年 9 月に香港政府より非営利団体 NPO 法人として認められ、皆様のご指導とご協力により、それまでの様々な活動を更に強化し、展開してまいりました。

2013 年に当研究会が日本国外務省より「平成 25 年度外務大臣表彰」を受賞いたしましたことは、これまでの香港における日本語教育促進への努力が認められたと、光栄の至りに存じます。今後もより一層の努力をいたす所存でございます。

さて、2014 年度における当研究会の活動でございますが、まず、年少者のための日本語教育の普及、促進を目的といたしました「香港小中高生日本語スピーチコンテスト」が第 10 回目を迎えました。この重要な節目を記念すると同時に、より多くの学習者に発表の場を提供できるように、2011 年度に中高生の「詞の朗読」の部、2013 年度に小学生の「詩の朗読」の部の増設に続き、中高生の「朗読劇」の部を新たに設けました。応募多数の中から厳しい予選を経て、48 名の小中高生が選出されました。出場者それぞれ素晴らしいパフォーマンスを披露し、来場者に大きな感動をもたらしました。

そして、年少の日本語学習者の学習意欲を高めるために設立いたしました日本語成績優秀者への奨学金と日本研究関係のプロジェクト賞は、2014 年 9 月に 4 回目の授与式を行いました。2014 年に高校の日本語成績優秀者 5 名に奨学金を、8 名にプロジェクト賞を授与しました。また、副学士課程の日本語成績優秀者 4 名に奨学金を、9 名にプロジェクト賞を授与しました。

1994 年に発足されました「国際日本語教育・日本研究シンポジウム」が、長年日本語教育に携わっている方々、日本に興味をお持ちの方々のご協力とご支援のもと、2014 年には第十回の開催となりました。11 月 15 日と 16 日の二日間にわたり、アジア、欧州、豪州、北米の 19 か国と地域より合計 313 名の参加者を迎え、発表の総件数も 190 を超えました。また、在香港日本国総領事野田仁大使殿のご厚意により、公邸におきましてシンポジウム参加者のためのレセプションを開催していただき、深く感謝申し上げます。

また、上級を担当する日本語教師の要望に応えるため、国際交流基金日本語上級専門家であらっしゃる宇田川洋子先生のご協力を得て、「上級の授業について考える」というワークショップを平日の午後に二回開催いたしました。何れも 30 名を超える参加者があり、好評を博しました。

更に、海外との交流においては、香港日本語教育研究会は、「日本語教育グローバルネットワーク」の一員として、8月に豪州のシドニーで開催された『日本語教育世界大会』に参加し、世界各国・地域の日本語教育者と有意義な意見交換ができ、今後世界的な視野を持つ香港の日本語教育の更なる普及と振興に貢献できましたら幸いです。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、在香港日本国総領事館、国際交流基金、及び会員の皆様方の温かいご支援、ご協力に心より御礼を申し上げます。なお、2014年の研究会の業務が順調に運ばれましたことは、理事、各委員会の委員、事務所の職員の尽力のおかげと、心より感謝いたしております。香港の日本語教育の促進がますます繰り広げられますことを心より期待申し上げます。今後とも、引き続き、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以下、2014年度(2014年1月1日～12月31日)の当研究会の活動報告をまとめました。

- 4月27日、第10回香港小中高生日本語スピーチコンテストを開催
 - ◎ 会場：香港公開大学李嘉誠專業進修學院葵興教學中心11樓演講廳
 - ◎ 出場者数：暗誦の部（小学生）9名、暗誦の部（中/高生）8名、朗読劇の部（中学生）五チーム、スピーチの部（高校生）8名

- 6月21日、香港日本語教育研究会第六回総会開催

- ◎ 総会后、講演会及びワークショップを行った。

講演会

講演者：守屋諒氏（国際交流基金北京日本文化センター 所長補佐）

テーマ：「国際交流基金北京日本文化センターの事業」

講演者：松浦とも子先生（国際交流基金北京日本文化センター 日本語教育専門家）

鈴木今日子先生（国際交流基金北京日本文化センター 日本語教育専門家）

テーマ：「JF 日本語教育スタンダード準拠教材『まるごと一日本のことばと文化-』
—その理念と概要—」

ワークショップ

講演者：松浦とも子先生、鈴木今日子先生

テーマ：文化理解を取り入れた日本語授業の提案—映像教材『エリンが挑戦！
にほんごできます。』中国語版を使って—

- ◎ 『日本学刊』第17号を発行、総会で会員へ配布し、香港および海外の日本語関係機関に郵送にて送付

- 6月【日本語教師研修会】第十四期修了。修了生五名。
- 6月22日、2014年第1回日本語能力試験(N2及びN5級)模擬試験実施(応募者数 - 400名)
- 7月6日、2014年第1回日本語能力試験(N1～N5級)実施(応募者数 - 6117名)
- 7月19日、副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞候補者の面接実施

- 8月2日、高校の日本語成績優秀者の奨学金及び日本研究関係のプロジェクト賞候補者の面接実施
- 9月27日、高校及び副学士課程の日本語成績優秀者の奨学金ならびに日本研究関係のプロジェクト賞授賞式
- 11月、『第9回国際日本語教育・日本研究シンポジウム』論文集出版
- 11月15日及び16日、『第10回国際日本語教育・日本研究シンポジウム——変化する国際社会における課題と可能性』を香港大学專業進修学院と共同開催
 基調講演：アメリカ、韓国、日本の著名な日本語教育・日本研究の専門家による講演
 講演者：長谷川葉子先生（カリフォルニア大学バークレー校 教授）
 演題：日本語教育の今後—米国の視点から
 講演者：崔官先生（韓国東アジア研究所長、教授）
 演題：東アジア時代における日本研究の視座
 講演者：山田昌弘先生（中央大学教授）
 演題：課題先進国日本—少子高齢化とバーチャル家族をめぐって
 フォーラム：
 発表者：長谷川葉子先生、崔官先生、山田昌弘先生、宇田川洋子先生（国際交流基金海外派遣日本語教育高級専門家）、陳徳奇先生（香港大学專業進修学院高級課程主任）、梁安玉（香港日本語教育研究会会長）
 テーマ：生涯学習としての日本語及び日本文化
 参加者による口頭発表—168本、ポスター発表—22本、パネル発表—3本
- 11月23日、香港地域における2014年第2回日本語能力試験（N3及びN5級）模擬試験実施（応募者数—450名）
- 12月【日本語教師研修会】第十五期開始、研修生四名。
- 12月7日、2014年第2回日本語能力試験（N1～N5級）実施（応募者数—6492名）
- 2014年度の香港における日本語能力試験実施は2回（受験応募者数合計—12609名）

【理事会】

毎月定例理事会を開催、理事による審議・討論を経て、会の運営等について決定を行う
 2014年度、計11回の会議を実施

【月例会】

毎月第2土曜日（2時～4時）に、当研究会事務所のホールにて、講演、ワークショップ、フォーラムなどの形式で実施。2014年度、計8回を開催
 講師—香港とマカオで高等教育、中等教育、日本関係研究携わっていらっしゃる方々
 参加者—毎回平均約20名